



ゆに通信

第4号 2012年12月23日発行
編集：NPO法人ゆに事務局

ゆにを応援して頂いている皆様

いつもゆにの活動を応援していただきありがとうございます。理事長の佐藤謙です。

あっという間に年末になりました。

皆様に支えられてここまで来ることができ、大変感謝しております。

今年はヘルパーの利用者さんが、去年の3人から5人になりました。

また、重度訪問介護従業員養成研修（ヘルパー研修）を3回、実施することができました。修学旅行支援事業では、徐々に依頼をいただけるようになりました。



年が明けますと、ゆにが誕生して丸2年になります。

まだまだ若い法人ではありますが、スタッフと一緒に力を合わせてさらなる飛躍を目指し、頑張っていきたいと思っております。

来年も、応援をどうぞよろしくお願い致します。

2012年12月20日
ゆに理事長
佐藤謙

修学旅行支援
モニタリングツアーで金閣寺へ
(3ページに関連記事)

ゆに理事長の佐藤です。

10月6日(土)に平成23年度の総会が行われました。ゆにが発足して、3回目となる今回の総会は、今までとは違いゆにを利用していただいている障害学生さんや、障害学生支援で活動をしている学生さん達にも来ていただきました。後半のゆにフォーラムでは、さまざまな立場の4人のパネリストから、ゆにについて思うことを語ってもらいました。

第3回 総会を開催しました！



発言の概要をご紹介します。

- ・ ゆにを立ち上げた想い(理事長)
- ・ なぜ福祉に関わっているのか(事務局スタッフ)
- ・ 1年間の活動をしてきて思ったこと(修学旅行支援の学生スタッフ)
- ・ ゆにヘルパーに入ってもらって良かったこと(ヘルパー派遣の利用学生)

今回、様々な形でゆにに関わっていただいている学生さんたちの、思いを聞くことができて良かったです。これからも現場で活躍してくれている学生さんの生の声を大事にした総会を行っていきたいと思っています。

第2部 シンポジウム パネラー発言より

学生のうちから障害のある人と関わった経験のある人は、社会に出ても障害のある人と自然に関わることができ、障害のある人をとりまく社会の問題についても感じ取ることができるようになるはずです。障害学生支援の活動は、そのような人を多く社会へ送り出すことでもあります。

それは、必ずしも障害者福祉の専門職に就くための勉強や経験として捉えることではありません。障害者福祉という限られた世界でしか障害のある人と出会えない社会は、むしろおかしいのです。どんなところでも障害のある人と出会うことが当たり前であるのが、社会の本来あるべき姿です。つまり、「ノーマライゼーション」という考え方です。

ですから、障害学生支援の活動の輪に加わる学生を、障害者福祉を専攻する学生に限定はしていません。確かに、障害のある人と関わる上で、思い込みではない正しい理解はもちろんのこと、一定の知識や技能が求められる場面はあります。しかし、それらを専門家のものだけではなく、「常識」に近づけていくことはできないでしょうか。

大学で多くの人と出会いたい、友達の輪を作りたい、それはほとんどの学生が持つ願いでしょう。その輪の中に、障害のある学生が当たり前にいる。色んな人が当たり前にいる。これが、ゆにの目指すものであると考えています。

立命館大学 文学研究科 大学院生 : 菊地俊介

修学旅行支援事業

修学旅行支援担当の前田です。この秋の依頼はありませんでしたが、来るべき依頼に備え、車いす体験をしながら観光地のバリアフリー調査する「モニタリングツアー」や、銭湯での入浴介助ボランティア等を行いました。

11月18日には『モニタリングツアーin 金閣寺&北野天満宮』を開催しました。修学旅行生が京都で3番目に多く訪れる観光地「金閣寺」や学問の神様・菅原道真を祀る「北野天満宮」をメインに京都・衣笠エリアの観光地を調査してきました。ゆにの事務所もある衣笠エリアをめぐる非常に近場でのツアーとなりましたが、いざ車いす体験をしながら調査を行うと、普段何気なく通行している段差がバリアに感じたり、お店に入る時も車いすで入れるかどうか確認するなど、見慣れた場所にも新たな発見がたくさんあり有意義な時間になりました。

その他、全国の中学校、高校へゆにのパンフレットを発送する作業も順次行っております。11月末日の時点で栃木県と山梨県の一部を除く関東の公立中学校すべてに発送を行いました。いよいよ12月からは公立高校への発送も開始します。

来シーズンのサービス提供拡大に向けて、この冬から営業活動を活発化させていく予定です。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

障がい学生支援事業

奥森です。障がい学生支援事業についてご報告します！

ノートテイク講座&派遣

京都嵯峨芸術大学 ノートテイク ー派遣をきっかけに…

後期も週2コマ、ゆにの学生スタッフが派遣テイクとして活躍しています。違う大学の学生同士ですが、ノートテイクをきっかけに友達になったとのエピソードも！

京都学園大学 出張ノートテイク講座

9月に、新たに京都学園大学さんからも講座のご依頼をいただきました。大学内での学生向けのノートテイク講座の必要性を感じられた職員さんと支援学生さんにより、ゆにの出張ノートテイク講座の開催に向けたプログラムが動き出しました。学生の皆さんが亀岡市に働きかけ、とても積極的に講座の準備をしてくださったことで、今回講座を開催することが出来たとお聞きしています。とても光栄なことです。皆さんの想いを大切に、引き続き相談や支援の部分でゆにがサポートしていければと思います。



**【写真】9/26京都学園大学での
ノートテイク講座の様子
京都学園大学さんのHPで紹介され
ました！運営に関わった支援学生
さんの声です (一部抜粋)⇒**

ノートテイクを始めて、文章を要約する力がつきましたし、授業への集中力が上がりました。また社会学部とは違った講義がとても面白いです。さらに、他校の学生とのつながりを持つことが出来ました。福祉に関わる将来の事など沢山アドバイスを頂きました。プライベートでも良くしてもらい、大好きな先輩です。芸大の学食はとても美味しいので、それも楽しみの一つです。

立命館大学1回生：田中伶奈さん

今年の春、人間文化学部で、聴覚障がい学生のためのノートテイクの募集がありました。(中略) ちょうど、亀岡市大学生地域活動支援金を使って講習会を開催できることがわかり、人間文化学部の先生とNPO法人「ゆに」の方々の御協力をあおいで開催にこぎつけました。(中略) 当日は、NPO法人「ゆに」の先生方から、こうしたノートテイクの実際を丁寧にお話しいただきました。また、そもそも障がい学習支援とは何かといった基本的なこと、実際に障害を持つ人の体験談、人によって助けて欲しい内容の違い、それをカバーするという目標についても話していただきました。

広報期間が短かったのですが、それでも何人かの受講者に来ていただきました。すでにノートテイクを経験している大学生の方々とも交流することができ、たいへん有意義な講習会になったと思います。このような機会のために援助していただいた亀岡市とNPO法人「ゆに」の先生方に、お礼を申し上げます。

京都学園大学 人間文化学部 日本語日本文化専攻
4回生：三村優介

講演活動

京都聖母学院中学校 福祉体験学習「車いす体験」

昨年に引き続き、今年も福祉体験学習での「車いす体験」講座のご依頼をいただき、ゆにの学生スタッフ3名と参加してきました。中学生2年生の皆さんは、車いす体験が初めての方がほとんどで、「怖いー！」という叫び声もチラホラと… 体験後に調査シートの記入をしていただき、今回の体験で気付いたこと、より深い考察をしていただきました。車いす体験での経験が、今後の進路の中で、少しでも役立てれば嬉しいです。



大阪人間科学大学 「情報保障講座」でのゲストスピーチ

前期の定期試験時に行った代筆の支援をきっかけに、大学の担当の方から10月10日に「情報保障講座」のゲストスピーカーとしてお話をさせていただく機会をいただきました。200名近くの学生さんや職員さんを前に、障害学生への情報保障とは何か、ゆにの活動が始まった経緯や事業の紹介などお話ししました。皆さん、熱心に耳を傾けてくださり、学生さんからもたくさん質問が出ました。「自分から積極的に行動することが大切ということは障害の有無に関わらず言えることだと思った。その言葉は私自身も心を打たれた。」という感想が印象的です。講演後に障害学生さんとの交流があったり、また大学院進学についての相談を受けるきっかけにもなりました。

第11回情報保障講座
ダレモガ
ジブンノ
ノゾムコトニ
チョウセンデキル
シャカイ ヲ メザシテ

NPO法人ゆに
～夢から始めるゆに学生支援を広めよう～

講師 NPO法人ゆに代表 佐藤 謙氏
ゆにスタッフ

ゆにの活動内容
・障がい学生支援
・ホームヘルパー派遣
・修学旅行支援
・障がい学生相談窓口

日程 2012年10月10日水曜日 14:45～16:15 (障害者福祉施設の控室内で実施)
場所 大阪人間科学大学 庄屋学舎 (OHS ホール)

学校・学生を問わず誰でも参加可能ですので、是非お越し下さい!

大学での講演をさせてもらうようになり、いろんな大学の学生さんや職員さんとお話できる機会は本当に大事だと感じた一日でした。

立命館大学 「障害者福祉論」でのゲストスピーチ

11月8日に産業社会学部の「障害者福祉論」でのゲストスピーチの機会をいただきました。「重度障害者の生活と自立」をテーマに、当事者である代表の佐藤謙とスタッフの中村周平、介助者から奥森結子がお話をいただきました。受講生の中には、当法人で活動している学生も多く、また、授業後に「興味があるのですが…」と話しかけてくださる学生さんもたくさん居られました。障

害分野の授業だけあり、学生さんの関心の高さが伺えました。よりたくさんの学生さんが重度障害者への関わりを増やすきっかけになればと思います。

● 重度訪問介護従業者養成研修 ●

12月開催が無事に終わりました！

今回の受講生は15名。立命館、同志社、京大、専門学生、社会人の方、そして高校生まで幅広く受講していただきました！今回より新たに、当法人の監事も担っていただいている趙没名先生(立命館大学講師)にも教壇に立っていただき、「重度障害者の地域生活について」の導入部分の講義をしていただきました。趙没名先生、田中直樹先生、浦野喜代美先生、堀田義太郎先生、ありがとうございました。

2月にむけて、いろんな大学の学生さんに研修を知っていただけるように広報し、また内容もより重度障害者の生活実態にあったものに充実できるように、運営スタッフ一同がんばります。皆さんのお申し込みお待ちしております！



NPO法人 ゆに <問い合わせ先>

〒603-8346

京都市北区等持院西町 60 番地 10 (京福電鉄「等持院」駅徒歩 5 分)

TEL:075-468-1633 FAX:075-468-1666

E-mail: info@unikyoto.com URL: <http://www.unikyoto.com>

今年もお世話になりました！新年もよろしくお祈りします！